

報道関係者各位

2021年 9月 16日

企画展 **躍動するインド世界の布**

2021年10月28日(木)～ 2022年1月25日(火)

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、企画展「躍動するインド世界の布」を2021年10月28日(木)から2022年1月25日(火)まで開催します。

**展覧会について**

インドを中心とする南アジア世界において、布は時と場所、用途に応じて、あるいは宗教的規範や社会的慣習によって、用いられるかたちや色、文様が異なり、その扱われ方も場面ごとに明確に定められている。

これまでインドについては、一枚布を巧みに変形させて、多様にまとう着衣文化があることが注目されてきた。だがインドにおける布は、衣装としてだけではなく、人生儀礼における贈与や、神がみへの奉納、社会運動でのシンボルといった多様な役割を担っている。人びとは場面に応じて多種多様な布のなかから目的や機能に適したものを選び、使い分けているのである。そのような人びとと布の多様な関係性は、多宗教、カースト制度、数百を超える言語といったインド社会の特質と深く結びついている。

インド世界の布は、場をくぎり、人をつなぎ、神と人の媒介となり、政治をうごかし、グローバル経済をうみだす。このように躍動する布の現場に光を当て、布の役割や機能を明らかにすることは、グローバル化が進む現代インドの社会や文化の持続と変容の動態をひもとくことにつながる。本展示ではインド社会をつくりだしている人びとの営みを多彩な布とともに紹介する。

**展覧会の見どころ**

人生儀礼における贈与、神がみへの奉納、社会運動でのシンボル。インド世界を多彩な布から迫る。

**資料点数** 約130点

## 展示構成

- 第1章 —— 場をくぎり、人をつなぐ布  
 第2章 —— 神にとどく布  
 第3章 —— 政治をうごかす布  
 第4章 —— 布がうみだすグローバル経済

## 実行委員長



### 上羽陽子(国立民族学博物館 人類文明誌研究部 准教授)

専門は染織研究。インドを対象として、調査地で技術を習得しながら染織技術の変化について研究。著書に『インド・ラバーリー社会の染織と儀礼——ラクダとともに生きる人びと』(昭和堂 2006年)、『インド染織の現場——つくり手たちに学ぶ』(臨川書店 2015年)、共編に『現代手芸考——ものづくりの意味を問い直す』(山崎明子共編、フィルムアート社 2020年)などがある。

## 実行委員(50音順)

- 五十嵐 理奈(福岡アジア美術館 学芸員)  
 岩谷 彩子(京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授)  
 金谷 美和(国際ファッション専門職大学国際ファッション学部 准教授)  
 杉本 星子(京都文教大学総合社会学部 教授)  
 鈴木 英明(国立民族学博物館グローバル現象研究部 准教授)  
 高道 由子(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士後期課程)  
 豊山 亜希(近畿大学国際学部 准教授)  
 福内 千絵(大阪芸術大学大学院芸術研究科 非常勤講師)

## 開催概要

展 示 名	企画展「躍動するインド世界の布」 Thematic Exhibition “The Vibrance of Indian Fabrics”
会 期	2021年10月28日(木)～2022年1月25日(火)
会 場	国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1) 本館企画展示場
開館時間	10:00～17:00(入館は 16:30 まで)
休 館 日	水曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
観 覧 料	一般 580円(490円)、大学生 250円(200円)、高校生以下無料 ※()は 20名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用 ※本館展示もご覧いただけます
主 催	国立民族学博物館
協 力	MINDAS(南アジア地域研究 国立民族学博物館拠点) 公益財団法人 千里文化財団

## 関連イベント

### 企画展関連クロストーク

#### 「布と空間デザイン —— インドの躍動感を伝える」

日 時	11月13日(土)13:30~15:00
登壇者	山中コ〜ジ(合同会社 GENETO GROUP 代表・建築家) 山下麻子(合同会社 GENETO GROUP デザイナー) 五十嵐理奈(福岡アジア美術館 学芸員) 上羽陽子(国立民族学博物館 准教授) 小関万緒(国立民族学博物館企画課標本資料係 職員)
司 会	金谷美和(国際ファッション専門職大学 准教授)
参加方法	要事前申込(先着順)／定員30名／無料 ※オンライン配信のみで開催します。 受付期間:10月4日(月)10:00~11月5日(金)16:00まで イベント予約サイトにて申込。定員になり次第受付終了。
主 催	国立民族学博物館
協 力	MINDAS(南アジア地域研究国立民族学博物館拠点)
内 容	本企画では、展示内容をどのように具体化するかについて、展示設計から演示手法、設営のプロセスを紹介します。 それにより、 1)使用状況を再現することが難しいとされる布の展示手法を開示する、 2)布の役割や機能を紹介する企画展において、どのような空間デザインを生み出すことが可能な のか、 展示企画者と展示設計者で討論します。

### みんぱくウィークエンド・サロン —— 研究者と話そう

研究者が展示や研究についてお話しします。

#### 「神と出会うために —— 礼拝儀礼布ピチュワーイー」

会 場	国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)
日 時	11月7日(日)14:30~15:15 (14:00開場)
講 師	豊山亜希(近畿大学 准教授) 上羽陽子(国立民族学博物館 准教授)
定 員	42名
参加方法	申込不要／先着順／要展示観覧券
内 容	インドの富裕なヒンドゥー商人たちが篤く信仰する神シユリーナート・ジー。 その御姿を描いた壁掛ピチュワーイーは、信者のみならずコレクターからも熱視線が注がれてきました。精緻な筆致で色鮮やかに表現されたヒンドゥー教絵画の豊かな世界を読み解きます。



礼拝儀礼布ピチュワーイー。インド、ラージャスターン州、ナードワラー、1984年収集、本館蔵、  
H0118550、177×130cm

「カンガ！—— アフリカの布？インドの布？」

**会場** 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)  
**日時** 12月5日(日)14:30~15:15 (14:00開場)  
**講師** 鈴木英明(国立民族学博物館 准教授)  
 上羽陽子(国立民族学博物館 准教授)  
**定員** 42名  
**参加方法** 申込不要/先着順/要展示観覧券  
**内容** アフリカ大陸東部沿岸のスワヒリ世界。女性たちがま  
 とうカンガはアフリカン・プリントの代表格のように語ら  
 れることが多いのですが、その歴史や流通をたどると  
 常に出てくるのがインドです。今回はインドとのかかわ  
 りに着目して、カンガを考えます。



ケニア・モンバサのカンガ専門店

「変容する舞踊衣装 —— 擬態するカールベリヤー」

**会場** 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)  
**日時** 12月19日(日)14:30~15:15 (14:00開場)  
**講師** 岩谷彩子(京都大学大学院 准教授)  
 上羽陽子(国立民族学博物館 准教授)  
**定員** 42名  
**参加方法** 申込不要/先着順/要展示観覧券  
**内容** 北西インドでヘビ使いを生業としてきたカールベリヤ  
 ー。政府にヘビの見世物を禁じられて以降、カールベ  
 ーリヤーの女性たちは、ヘビの姿や動きを踊りや衣装  
 で表現するようになっていきました。彼女たちの衣装と  
 踊りの変遷を、ヘビに擬態する人間の営みとして考え  
 ます。



レストランで踊るカールベリヤー女性とブーンギ  
 ーを吹く男性。ラージャスターン州、ジャイプル、  
 2014年、岩谷彩子撮影

「聖と俗 —— 染色布で女神寺院をつくる」

**会場** 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)  
**日時** 12月26日(日)14:30~15:15 (14:00開場)  
**講師** 上羽陽子(国立民族学博物館 准教授)  
**定員** 42名  
**参加方法** 申込不要/先着順/要展示観覧券  
**内容** ヒンドゥー教の女神を崇拝する人びとの間で、使用され  
 てきた女神儀礼用染色布。数枚を組み合わせて間仕  
 切り布や天蓋として、祠の周りの聖なる空間と日常の  
 空間とを仕切る役割を担ってきました。女神の力にあ  
 やかろうとする人びとと儀礼布との関係について紹介し  
 ます。



赤色染液の色置きをおこなう職人の娘。インド、グジ  
 ャラート州、アフマダーバード、2010年、  
 上羽陽子撮影

## 「トライブ・アイデンティティとしての布」

**会場** 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)  
**日時** 1月 9日(日)14:30~15:00 (14:00開場)  
**講師** 岡田恵美(国立民族学博物館 准教授)  
**定員** 42名  
**参加方法** 申込不要/先着順/要展示観覧券  
**内容** インド北東部の山岳民族ナガは、言語が異なる多数の  
 トライブで構成されています。伝統文化の復興や再評価  
 が高まる中で、独自の配色やデザインを施した織物  
 や刺繍は、伝統衣装のみならず現代のファッションに  
 も取り込まれ、各トライブの象徴として機能していま  
 す。



伝統的な橙と  
黒の配色にベ  
ストやタイを  
取り入れたチ  
ャケサン・トラ  
イブ

## 「モーディー首相、サリーになる」

**会場** 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)  
**日時** 1月 16日(日)14:30~15:15 (14:00開場)  
**講師** 杉本星子(京都文教大学 教授)  
 上羽陽子(国立民族学博物館 准教授)  
**定員** 42名  
**参加方法** 申込不要/先着順/要展示観覧券  
**内容** インドは世界最大の民主主義国家である。2019年の  
 総選挙では、インド人民党党首ナレンドラ・モーディー  
 氏と戦闘機がプリントされたサリーが売り出され、女性  
 支持者のあいだで飛ぶように売れた。サリーの縁飾り  
 は弾丸。愛国のファッション・サリーである。



モーディー首相と戦闘機がプリントされたサリー

## 関連図書 **発売予定** 躍動するインド世界の布

女性が身に纏うサリー、男性が頭に巻くターバン。布は身につけるだけではない。インド世界の布は、  
 場をくぎり、人をつなぎ、神と人の媒介となり、政治をうごかし、グローバル経済をうみだす。インド社  
 会をつくりだしている人びとの営みを多彩な布から迫る一冊。

その豊かで多様な世界を、カラー写真を豊富に用いて生き生きと描き出す。

・上羽陽子編 金谷美和編  
 ・2021年10月15日発行  
 ・定価:2,090円(本体1,900円+税) 予約受付中  
<http://www.showado-kyoto.jp/book/b589105.html>  
 ・制作・発行:株式会社昭和堂  
 ・判型・ページ数:A5・132ページ



## 関連出版物 2022年 国立民族学博物館オリジナルカレンダー 躍動するインド世界の布

2022年の国立民族学博物館オリジナルカレンダーは、企画展「躍動するインド世界の  
 布」の展示資料から選びました。人生儀礼における贈与品、神がみへの奉納品、社会  
 運動のシンボルなど、多様な布の世界をお楽しみいただけます。

それぞれの資料には、研究者による解説を添えています。

・協力:国立民族学博物館  
 ・2021年 9月1日発行  
 ・ミュージアム・ショップ(店頭及びonline shop)にて販売中  
 ・制作・発行:公益財団法人 千里文化財団  
 ・定価:1,320円(税込)



## 企画展「躍動するインド世界の布」 広報用画像リスト



【1】企画展チラシ



【2】戸口飾りトーラン インド グジャラート州  
バーヴナガル県 1978年収集



【3】女性用外套 パキスタン 1977年収集



【4】祈禱旗 インド 1981年収集



【5】衣装装飾版画 インド タミル・ナードゥ州  
チェンナイ 1990年代収集



【6】携帯用紡ぎ車 インド グジャラート州  
アフマダーバード 2013年収集



【7】《26-1-2001》アーダム・サンガル作 インド  
グジャラート州 カッチ県 2004年収集



【8】カンガ ケニア モンバサ 2000年収集



【9】イギリス・バーレ社 ティーセット  
「キャリコ」  
イギリス 2016年収集



【10】街角のインドボダイジュ。布が捧げられ、聖木  
として祀られている。インド タミル・ナードゥ州  
チェンナイ 2018年 福内千絵撮影



【11】花嫁の母親に彼女の実家から贈り物が届けら  
れる。インド グジャラート州 カッチ県 1999年  
金谷美和撮影



【12】イスラームの集会のトロン。  
バングラデシュ ダッカ 2010年 五十嵐理奈撮影



【13】インド、グジャラート州 カッチ県の港町ムンドラ郊外にある聖者墓に掛けられたダルガー・チャーダル。中央の赤字の布にはモスクの形にアッラーの美名がプリントされている。  
2011年 鈴木英明撮影



【14】庶民の市場バラ・バザールの頭上を飾るインド国旗の連続旗。インド 西ベンガル州 コルカタ  
2013年 豊山亜希撮影



【15】インドで東アフリカ向けカンガの生産がおこなわれている。インド グジャラート州 ジェートプル  
2006年 金谷美和撮影



【16】野蚕のエリ蚕にヒマの葉を飼料として与える。  
インド アッサム州 2019年 上羽陽子撮影

これらの広報画像はデータにて提供可能です。  
ご入り用の画像があれば、総務課広報・IR係まで次頁申込用紙にてお申し込みください。  
資料名につきましては、展示場での表記と異なる場合がございます。



## 企画展「躍動するインド世界の布」 広報用画像利用申込用紙

〔E-mailでお申し込みの場合〕 koho@minpaku.ac.jp

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【プレゼント用招待券】(ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください)

3組6枚     5組10枚

※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

発送先 〒
-------

【広報に関するお願い】

■ 写真使用に関するお願い、注意事項

・クレジットには次のとおり記載してください。

【2】～【4】・【8】国立民族学博物館蔵

【5】～【7】・【9】個人蔵

【10】～【16】撮影者名を入れてください。

・写真(画像)のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。

・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

■ 本館の基本情報等の確認のため、E-mailまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。

■ お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。